

ながわだより

特集号

発行日 2022年

2月25日

発行者 中川区自治会

「宮地岳線跡地開発と」

中川区まちづくり

自治会長 米谷 英資

宮地岳線跡地利用計画がスタートして10年以上が経過しました。その間数度の跡地利用計画に関する勉強会や説明会がイメージ図や詳細設計図を使って行われ、内容は住民の意見も反映されたものになってきて、中川地区についてはいよいよ計画の最終段階となりました。

中川区としては、区民の皆様との賛同を得ながら、今年度中に跡地利用計画に対する最終意思決定を、自治会役員会・隣組長会による議決をもって行いたいと考えています。

利用計画の骨子は

次のとおりです

- ①防災上の観点から緊急車両が通り易い車道を整備する。
- ②歩道を広く取り、自転車専用通行帯（青色塗装）も設けて安全性と利便性を実現する。歩道は遊歩道となる。
- ③通過車両増が考えられるが、極力増やさず、またスピード



2021年8月地元説明会（中川公民館）

を制限するための工夫（一部に通りにくい隘路の設置、横断歩道部は凸状にする等）を行う。

④小公園広場や新道路につながる歩行者・自転車通路を新たに設置する。

最新の詳細設計図に沿ったものが実現すれば、新設の遊歩道（道）と既存の海岸遊歩道をつないだ周回歩道ができ、区民の健康増進・コミュニケーションの広がり等が期待できるとともに、中川区の街づくりや生活の利便性向上にも寄与するものと思います。

※別途回覧にて、本件に関する住民の皆さんの最終意見を募集していますので、何かありましたらお寄せください。

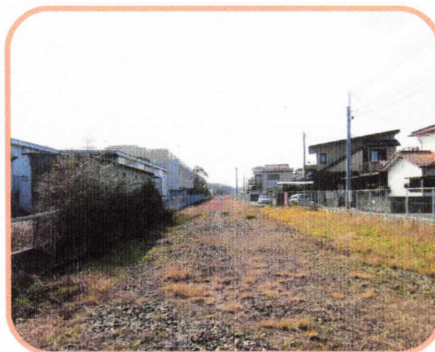
「経過」

これまでの概略の経過説明

- 2007年3月 西鉄宮地岳線廃線
 - 2010年 跡地利用に関するアンケート実施…遊歩道案に賛成多数
 - 2012年 古賀市 跡地の用地取得
 - 2013年5月跡地計画勉強会（中川公民館）住民20名、市関係7名参加
 - 2016年10月住民説明会（北区公民館）
 - 2017年11月3区合同会議（市役所）中川区・北区・南区役員参加。
- 確認事項：①緊急車両を通す。②住民の車両を通す。③通過車両を増やさない。
- ④スピードを出せない工夫をする。⑤遊歩道と海岸散歩道の接続。
- 2019年11月 跡地利用のイメージ図をもとに説明と意見交換会（内容を2019年12月「ながわだより」で報告）（中川公民館）…住民30数名参加。今後これまでの意見を反映した詳細設計を進め、その設計図をもとに再度説明と具体内容の意見交換を行うこととなった。
 - 2021年8月 詳細設計説明と意見交換会（中川公民館）…住民30数名程度参加。今後も住民の意見を聞きながら、さらに設計の検討を行うこととなった。
 - 2022年11月 見直し版詳細設計の説明と意見交換会（中川公民館）住民30数名程度参加。市としてはこれを最終案としたい意向。中川区としても前向きにとらえる意見が多かった。



2016年4月西鉄花鶴架橋通学歩道



2022年1月中川区域内現地

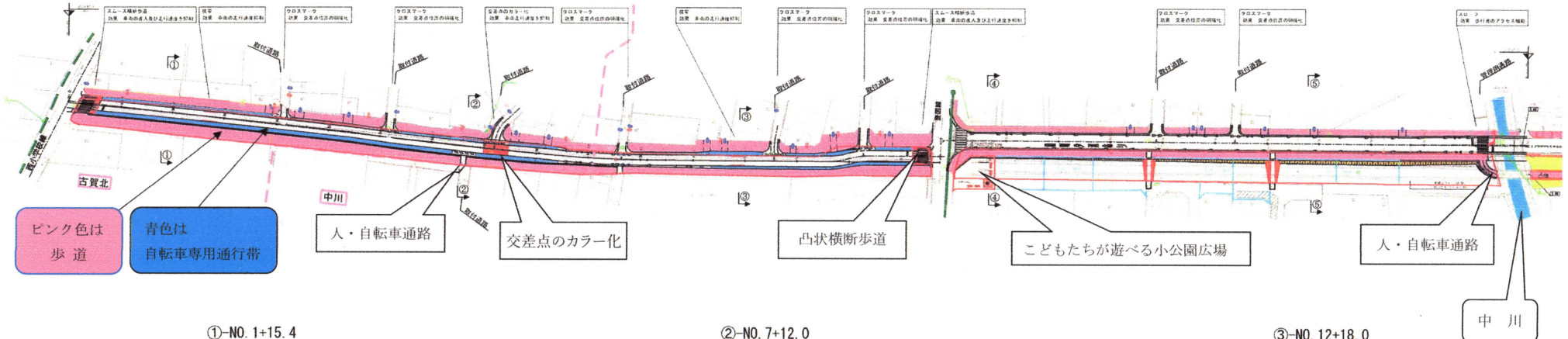


2013年5月利用計画の説明会（中川公民館）

西鉄宮地岳線跡地利用計画 (中川地区 2022年1月現在)

ゴルフ場方面

花見方面



ピンク色は
歩道
青色は
自転車専用通行帯

人・自転車通路

交差点のカラー化

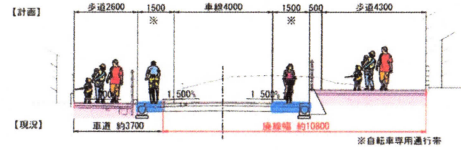
凸状横断歩道

こどもたちが遊べる小公園広場

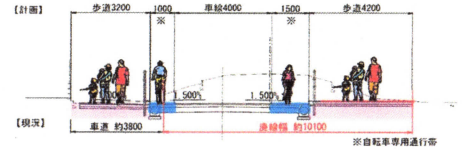
人・自転車通路

中川

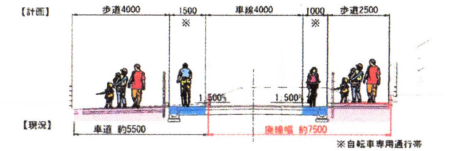
①-NO. 1+15.4
GH=5.06
FH=3.587



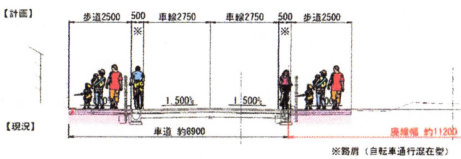
②-NO. 7+12.0
GH=5.20
FH=3.635



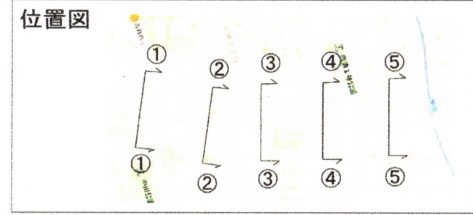
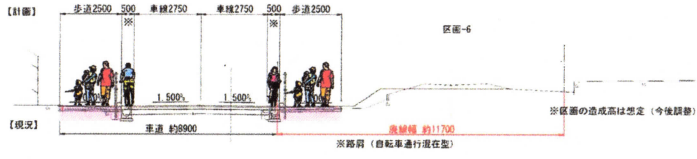
③-NO. 12+18.0
GH=5.17
FH=4.059



④-NO. 17+13.0
GH=4.98
FH=4.424



⑤-NO. 23+15.7
GH=4.68
FH=3.910



註：市の図面を一部加工

2 遊歩道イメージ

古賀市のイメージ図 (2021-11月) を転載



①健康づくりができる遊歩道 (高齢者の方から子供まで)
⇒これまでの「歩いてん道」とつなげた周遊コース (案)

